

川崎地域連合

2018多聞善塾を開催

「議員と川崎のまちづくりを語る集い」

—第19回統一地方選挙勝利に向けて—

10月10日（水）、エポック中原において2018多聞善塾「議員と川崎のまちづくりを語る集い」を開催し、438名が参加しました。



1. 第1部

冒頭、藤吉議長より、「川崎地域連合は政策制度を共に進められる仲間として、現職議員100%の再選に向け、政党を乗り越えて、出来る限りの協力をお願いしたい」と話しました。

つぎに川崎地域連合議員懇談会会長の雨笠会長より「私たちが敵対視する相手を間違えないように、死に票を出さないようお願いしたい」挨拶しました。

引き続き予定候補者から決意表明をしました。（登壇順）

【県議会】青山議員、石川議員、斉藤議員、滝田議員

【市議会】飯塚議員、林議員、山田議員、松井議員、堀添議員、
岩隈議員、織田議員、露木議員、雨笠議員、木庭議員



がんばろう3唱

1部の最後として会派「みらい川崎市議会議員団」の政策について、山田団長より「前回の選挙では、マニフェストを作成し理解を求めたが、今回は政党の関係から作成することはできない。ただし、この会派は、働く者・生活者目線で活動するスタンスは変わっていない」と強調しました。

2. 第2部

「川崎のまちづくりを語る」と題して、地域連合の政策・制度要請に関連した3つのテーマについて、議員と情報交換を行ないました。

テーマ1：JR南武線「混雑緩和と安全対策」

テーマ2：こどもの貧困と高齢化社会の課題

テーマ3：自然災害とまちづくり



発言したいテーマは挙手で意思表示